

令和元年度第2回さぬき市図書館協議会 会議要旨

- 1 日 時 令和2年2月10日(月) 13:30~15:30
- 2 場 所 さぬき市教育委員会2階第5・6会議室
- 3 出席者 【委員】 富田 明 横尾 昌彦 川田 礼子
池田 洋子 吉原 友博 森 幹男
池田喜代美 小倉 久子
【事務局】 安藤教育長 細川生涯学習課長
射場館長(志度) 中村館長(寒川)
堀口副主幹 伊関副主幹
- 欠席者 井上 綾子 石川 智治
- 傍聴者 無し
- 4 議 題 (1) 平成31年度さぬき市図書館事業中間報告について
(2) 令和2年度さぬき市図書館事業計画(案)について
(3) その他

5 会議の内容

発言者	意見概要
(事務局)	(会議の公開等の取扱いについて説明した。)
(委員)	(公開することで了承された。)
(事務局)	本日の傍聴は、ありません。では、令和元年度第2回さぬき市図書館協議会を開会します。
(委員長)	(委員長挨拶)
(教育長)	(教育長挨拶)
(事務局)	(資料の確認をした。)
(事務局)	議事に移ります。さぬき市図書館規則第2条第2項により、進行は委員長にお願いします。
(委員長)	平成31年度さぬき市図書館事業中間報告について、事務局は説明してください。
(事務局)	(議題(1)の平成31年度さぬき市図書館事業中間報告説明)
(委員長)	蔵書数の中にデジタイズ図書は入っていないのですか。図書館にはないのですか。
(事務局)	20本だけですが入っています。
(委員長)	蔵書数の分類ではどれになりますか。
(事務局)	AV資料の数にデジタイズ図書の数が入っています。
(委員長)	AV資料とは別に表示したほうがいいのではないのでしょうか。障がい者支援ということもあり、委員さんにもわかるようにしたほうがいいと思います。
事務局)	分けて表示する方法を検討します。
(委員長)	図書館はサピエには登録していますか。
(事務局)	サピエには登録していません。香川県下では香川県立図書館と視聴覚協会の2か所で、取り次ぎなどをしてもらっています。

(委員長)	<p>中学生への読書支援というものが、行事の中には少ないなと感じました。次年度で中学生への読書支援行事があればなと思います。ブックハンティングとかの形で関わってもらえるのはいかがでしょうかと思います。</p>
(事務局)	<p>中学生については、司書が志度中学校に赴いてYAの充実ということでブックトークを行いました。さぬき市の各中学校や高校へ、行事を手伝ってもらえるボランティアを募集しています。ブックトークについては、初の試みで、YAに対する啓蒙活動として行いました。</p>
(委員長)	<p>図書館行事に入っていますか。</p>
(事務局)	<p>ブックトークの出前として入れています。今回志度中学校から依頼があり、司書に行ってもらいました。委員長のおっしゃるとおり、今まではYAについての行事はなかなか行えませんでした。今年については積極的に中学生に声掛けができたと思います。</p>
(委員長)	<p>ブックトークも啓蒙につながると思うんですけど、もっとわかりやすく中学生支援事業という形で、図書館主体で行事が行えたらと思うのですが。例えばYAコーナーに中学生の意見を募集して展示をしてもらうとか、これも一つの手だと思います。</p>
(事務局)	<p>職場体験に来た中学生が、YAコーナーにて読書紹介をしています。あと、事務局の報告にもあったように、YAについては目立った行事はありませんが、幼児から小学生にかけての図書館見学や職場体験、が昨年と比べて倍になっています。去年は15回、今年30回になっています。増えているということは、司書が一生懸命こういった肥やしをやっていることだと思います。</p>
(委員長)	<p>司書さんが現地に行ってブックトークを行ったというのも、初めて聞きますね。</p>
(事務局)	<p>スタッフにも限界があり、カウンター業務にも影響が出てきます。それでも一生懸命外に出向いたり中でしっかり子どもたちと接したりと前向きに考えてくれています。</p>
(委員長)	<p>YAに目が向いている図書館になっているかなと感じますね。</p>
(事務局)	<p>補足ですが、年末だったので行事欄に入れるかどうか微妙だったのですが、志度中学校美術部が美術展を行ってまして、部員のみなさんが春から年末の間に作成した作品を志度図書館1階のフロアに飾りつけをします。それが始まると若干学生の来館者が増えます。</p>
(委員長)	<p>子どもの読書の習慣ということですが、小さい頃から図書館に足を運ぶことによって中学生になる頃には本が好きになるというふうになっていくと思います。いきなり中学生に「本を読みなさい」と言っても、読まないですね。来年度の行事として、スポーツが好きな子はスポーツ関係の本を展示してくれたりとかそういうのを募集して積極的に図書館をレイアウトする、そういう試みも、中学生参加型としてどうかと思います。</p>
(事務局)	<p>教育長の挨拶でありましたが、図書館が行っているイベントを、本と関係ないイベントであると思われていますが、必ずセットで司書が行う本の読み聞かせなど、子どもたちを本に惹きつけるような工夫を行っています。</p>
(委員)	<p>定期的な行事の中のブックスタート事業ですが、3・4か月児の健診時にメッセージとともに絵本を渡しているという事業で定着していますが、それをきっかけにして図書館に結び付いたということは把握されていますか。</p>

(事務局)	ブックスタート事業で図書館の説明をパンフレットを使って行っていますが、その最後のページは申込書となっていて、私がお申込書で赤ちゃんの図書館登録を3人程受け付けています。説明の際、「0才でも登録できるのですか」という質問や「絵本を借りたいです」というお話をいただいたりしています。まず図書館を知らない方もいらっしゃるのでは、その方々に対するアピールはできていると思います。
(事務局)	そういった下地を脈々と、子育て支援課と図書館とボランティアの方々が出向いて行っているのでは、カウンター業務をしていたらそれを感じます。
(委員長)	3ヶ月から4ヶ月の赤ちゃんがいるお母さん方は健診に必ずいらっしゃるのでは、その折、ブックスタートで直接図書館カードの登録は出来るのですか。
(事務局)	図書館システムを通さなければならぬので、できません。
(委員長)	申込みは出来るのですか。
(事務局)	「申込書を図書館に持ってきてください」という言い方をしています。
(委員長)	ブックスタートの場で出来ればすごく効果があると思うのですが。お母さんが図書館に出向くのが大変だと思いますので。
(事務局)	そういった試みで一度申し込みをその場で受けたことがあるのですが、忙しくてなかなか図書館カードを取りに来られなかったことがあり、その間ずっと申込書やカードを別に保管しなければならない状態になったため、図書館に来ていただいて直接申し込みをしていただくスタンスに戻しました。
(委員長)	ブックスタートは赤ちゃんが本に出会えるいい事業だと思いますね。
(委員)	新規登録者数で、0才から6才のところは昨年度より減少していますが、子どもの数が減っていることが影響しているのではあって、ブックスタートの効果は上げているというわけですね。
(事務局)	ブックスタートの時にパンフレットの数を用意しているのですが、必要部数が年々減少しています。出生率も下がっているのだなと感じました。
(委員)	ブックスタート事業も非常に大事ですが、セカンドブック事業の予定はないんですか。
(事務局)	子育て支援課の方で予算化する事業になると思うのですが。
(事務局)	子育て支援課で一旦話はあったのですが、それがどうなったかは申し訳ございませんが聞いていません。
(委員長)	レファレンスサービスはどれくらい受けていますか。
(事務局)	簡単なレファレンスを入れますと900件くらい受けています。例えば、「この本はありますか」とか「どこで借りられますか」というのも含めての数です。
(委員長)	窓口だけでなく、電話で聞いたことをホームページでお知らせするサービスは行っていますか。
(事務局)	ホームページで載せることはしていません。
(委員長)	窓口のみのサービスということですね。それを利用する年齢層はわかりますか。中高生は利用していますか。
(事務局)	中高生はほとんどなく、一般の方が多いですね。
(委員長)	レファレンスに関係した本は図書館にあるのですか。
(事務局)	本によっては取り寄せることもあります。
(事務局)	レファレンスはケースバイケースで、電話で応対した数も入っています。受ける職

	員も万能ではないので、その方面に詳しい職員に回したり、2階に郷土コーナーがあるのでそこにいる職員に回したりしています。それでも本のある場所、ある程度の内容は答えられるようにしています。
(委員長)	窓口だけでなく、図書館に来られない方への、メールでのレファレンス対応も必要かなと思っております。
(事務局)	土曜日曜日では、レファレンスというのか、観光でいらっしゃる来館者への観光案内の対応も行っています。
(委員長)	図書館の職員の方はみなさん説明できるのですか。
(事務局)	観光地図やパンフレットを駆使しながら説明しています。
(事務局)	外国人のおへんろさんが来て、「さぬき市の外国語表記バージョンはないか」といちゃったりします。商工観光課からパンフレットをもらっており、それを差し上げています。
(委員長)	せっかくレファレンスサービスを行っているのだから、資料にレファレンスの数をいれてはどうでしょうか。委員さんにも知っていただけたらと思います。
(事務局)	日報には入れています。資料には入れていませんので、検討させてください。
(委員)	本当のレファレンスサービスと所蔵調査を分けて示した方がいいかもしれませんね。レファレンスは専門的なものもあるから大変だと思います。
(事務局)	受けて2・3日お時間をいただいてお返しするといった込み入ったレファレンスは少ないです。
(委員)	ブックトークの出前は、司書さんも職員さんもだいぶ時間をとって調べたりして大変だったと思います。資料6ページの予約リクエストの数についてですが、「予約」は、現在その本が借りられているので予約した数で、「リクエスト」は、図書館にはない本を購入して欲しいという要望の数だと思うのですが、その数を一緒にしているということでしょうか。
(事務局)	一緒にしています。
(委員)	予約とリクエスト数を分けてみてはどうでしょうか。
(事務局)	検討します。
(委員)	6ページの相互貸借件数についてですが、寒川図書館では県外から取り寄せているようですが、国会図書館からになるのですか。
(事務局)	いいえ。これは専門的な図書ですが、岡山県立図書館から取り寄せたものです。資料に5冊とありますが、お一人で5冊取り寄せています。
(委員)	市図書館の図書の返却を、公民館等で返却できるようになったと思うのですが、それを利用されている方は現在どのくらいいらっしゃいますか。
(事務局)	志度図書館では月に2・3件、寒川図書館では月1件あります。志度では小田出張所や津田公民館が多いです。
(委員)	高松市の図書館では、コープで返却できるなど、多くの場所で返却は出来ませんが、さぬき市でも図書館以外で返却できるようになり、便利になっていると思うので、そういうのを大事にしてほしいです。
(事務局)	大人の利用が多いとは思いますが。小中高生に向けても利用できることをお伝えしなければと思っております。
(委員長)	他に意見がないようなので、令和2年度さぬき市図書館事業計画(案)について、

	説明してください。
(事務局)	(議題(2) 令和2年度さぬき市図書館事業計画(案)について説明した。)
(委員)	図書館事業の広報関係についてですが、図書館だよりの構成は何ページくらいで、 どういった内容ですか。
(事務局)	A4サイズの1枚もので、その月の図書のテーマ、おすすめの図書の紹介と図書館 カレンダーと行事を掲載しております。
(委員)	みなさんに届けるツールはどのようなものを使っていますか。
(事務局)	図書館だよりは志度・寒川図書館に置くのと、津田・大川・長尾については公民館 に送りまして掲載しております。
(委員)	ホームページには掲載していますか。
(事務局)	ホームページには、「何月号のホームページは何月上旬に発行して、本は何々を紹介 しています」と掲載しています。
(委員)	PTA代表で来させてもらっているのですが、どんな形で図書館に協力できるのかなと 思っているのですが、お母さん方の集まりの会がありまして、「志度と寒川に図書館 がありますが、行っていますか」とお聞きしました。すると、「遠いから行っていない」 とかの声がありました。私自身も一回行ってみなければと思うのですが、行けて いません。本を読むというのは大事だなと思うのですが、習慣を子どものうちから 身に付けなければならないとか、そういうところが皆さんの悩みどころだと思います。 PTAに出来ることは、そういった活動があって話し合いすることや、学校では図書 委員さんがいらっしゃると思うのですが、月1回発行する図書館だよりに学校の図書委 員さんの活動などを取り上げて各学校がこういう活動をしているという形で協力で きるのではないかと思います。さぬき市の中でも志度地区の利用者数が多く、その時 点で他の地区と開きができてしまっていると思うので、地理的なデメリットをどうや ってカバーしていくかと考えると、広報紙を利用しながら各学校図書館やその支援員 の活動を紹介するという取り組みもいいのではないかと思います。小学校は7校、 中学校は3校、高校は3校の計13校の公立学校があるので、1年少し過ぎますが一 巡できると思います。また、中間報告に戻るのでありますが、貸出利用者数は延べ人数で3 0,075人となっていますが、実際の利用者数は4,352人で105,175冊 の本を読んでいることになろうかと思います。利用者を増やすには、学校図書館活動 を取り上げて、生徒同士が話し合ったりして気持ちを図書館に持っていくのも、学校 で単に話をするより実感として残っていくのではないかと思います。
(委員長)	利用してくれている方もすごく大事ですが、利用していない方の意見が大事だと言 われています。図書館にどうして行かないか。遠いから、本に親しんでいないからと か色々ありますが、利用していない方の意見を聞くためにアンケートをとりましょ うという図書館があります。そこへ、図書館が新たに考えられる原因や課題が出てくる わけです。利用していない方に目を向け、意見を取り上げるのはいいんじゃないかな と思いました。それと、学校についてですが、先生方もいらっしゃるのでお聞きした いのですが、四国新聞に「漫画で読む力を養う図書館」というのがありまして、学校 図書館には漫画は置いていますか。
(委員)	中学校では置いています。貸し出しを禁止しています。図書館支援員と種類によ っては貸し出しをOKにするとどうなるのかなという話をしています。歴史本などの

	漫画もたくさんありますので。
(委員長)	<p>昨年の12月の四国新聞の記事にあったのですが、漫画で読む力を養うというのがあり、子どもが活字に強くなれば本を読む。その中に「ドラえもん」がありました。活字に慣れ親しむためあえて漫画を学校図書館に置くという取り組みをしているようです。とりあえずは活字を読まない、長い文章も読まないですね。新聞に掲載されているので、成果が上がっているものだと思っています。小学校ではどうですか。</p>
(副委員長)	<p>小学校では「日本の歴史」を置いています。あと、漫画を基にして作った小説もあります。</p>
(委員長)	<p>活字に強くならなければ、長編の小説などは読まないと思いますので、漫画が活字の訓練になるのであれば、こういう試みもいいなと思います。</p>
(委員)	<p>利用者を増やすのがポイントだと思うので、事業計画にもありますようにホームページにあると思います。皆さんスマートフォンを持っていますし、スマートフォンが主な媒体になると思います。手取り早い話です。職場や団体、家庭全てに紙ベースなんかというものは広がっていかない。ツイッターもだいぶ前からされています。私は図書館のホームページを細かく見ていますが、丁寧なホームページだと思います。ここへアクセスしてもらえそうな、興味を持ってもらえてのぞいてみようかなというふうになれば一番いいと思います。また、図書館の基本は「本」なので、プラスアルファが必要になるのではと。資料の行事・イベントの中で、小中学生に対してボランティア団体が頑張ってくれているので、さぬき市図書館としては相当機能しているのではないかと思います。ただ、残念ながら基本的に活字を読まないというのは大きな時代の流れなので、流れに逆らうのではなくてそれに乗って行って、メディア自体が相当変わってきており、子どもたちは動画やゲームとかに関心があるわけなので、図書館としては、活字以外のものとしてしっかりと流れに乗っていける体制がないといけないのではないかと思います。行事自体はこのまま続けていけばいいと思います。図書館の職員の対応も非常に良いと思います。お世辞ではなくさぬき市の図書館はいいと思っておりますので、自信を持ってください。図書館で行っていることに迷わずに継続して行ってください。計画もこれで行って欲しいのと、ホームページの更新や広報については根気よく行って欲しいです。社会人の方が1人でも多く足を運べるような体制を作って欲しいです。</p>
(委員長)	<p>図書館職員さんも大変な業務の中頑張ってくれていますね。</p>
(事務局)	<p>委員さんはツイッターのフォローはしていただいていますか。</p>
(委員)	<p>そこまではしていませんが、ツイッターは見ています。</p>
(事務局)	<p>ありがとうございます。ツイッターでは新着本を出すたびに、背表紙だけですが写真付きでお知らせをしています。</p>
(委員長)	<p>図書館イベント情報も郵送で委員さん方にお知らせしていただいていますね。これによって委員さん方からも情報を発信していますので、すごくよかったです。</p>
(事務局)	<p>資料には載せていませんが、今年度から児童担当の司書とYA担当の司書が学校図書館支援員さんと相談して、児童やYAの新しく購入した本や図書館からお知らせしたいこととかをカラーで印刷して学校図書館に掲示することを始めています。昨年度は一旦止めていましたが、支援員さんが学校図書館に入ってから活発になってきたので、再び始めるようになりました。成果が見え始めましたら御報告します。</p>

(委員長)	委員さんがおっしゃったように、時代の流れに乗った発信の仕方でお知らせしていただけたらと思います。
(委員)	図書館だよりを毎月発行していただいているので、データをPDFファイルとかに変えてホームページに載せるのはどうでしょうか。
(事務局)	著作権の関係で表紙とかが載っているの、ちょっと難しいのではないかとということで遠慮しています。
(委員)	13ページにある予算額ですが、図書館の利用者数や貸出冊数が減っている原因は、図書費が少ないことだと思っております。類似市町と比べても志度・寒川二館を合わせても1/3程度しか計上されていません。前回の会議の時に委員長が声を大にして図書費の増額を言ってくださったと思うのですが、この予算には反映されていないと思います。そのあたりどうなっているのでしょうか。
(課長)	予算は多い方がいいのですが、蔵書率が100%になっているというのもあり、いくらでも本を購入できる状態でもなく、また、予算の要望もしているのですが、前年ベースの予算組みをというのをどうしても言われておりまして、上乘せが出来ていない状態です。
(委員)	何人かの方からは、「他の図書館にはあるのにさぬき市の図書館にはない」と言われることがあります。本というのは図書館の「血液」ですから、それが滞っているようなら利用者も増えないし、貸出冊数も増えてはいかない。その辺を是非検討していただきたいです。
(委員長)	両館長にお聞きしたいのですが、図書館に子どもたちが見学に来られると思うのですが、どういうところを見られるのですか。
(事務局)	志度ではまず司書が、声を出してもいいふれあいコーナーに案内し、そこで図書館の説明をします。来る子ども、例えば小学校・幼稚園・保育所では対応が変わってくるので、それに合わせて説明を行い、その後図書館内をずっと回って説明します。要望があればおはなし会をする場合もあります。見学時間は約1時間程度ですね。児童・幼児は静かに見学できています。
(委員長)	先生が「図書館では静かに」というのを指導しているからですかね。
(事務局)	そういうのもあると思いますが、司書の説明に耳を傾けているからだと思います。司書の説明に児童たちを引き付ける力があると思います。
(事務局)	寒川では、ふれあいコーナーのような場所はないので、一度に大量のクラスが来られると受け入れできない状態です。この前も寒川小学校の2年生が見学に来ました。まず図書館の説明をします。「図書館に来たことがあるか」「図書館カードは持っているか」とか色々聞いたりしながら、場所へ移動し、各コーナーの説明をします。その後2階にて読み聞かせを行い、あらかじめもらっていた質問に対する質疑応答を行います。約1時間で行っています。
(委員長)	小さい頃から図書館に見学に行くと「楽しい」と思ってくれたら、今度は「お母さんで行きたい」となっていったら、本に親しみやすくなると思うので、見学って大事だなと思いました。
(委員)	見学に関係することですが、資料10ページにも東部養護学校の生徒さんが来ていただいています。その時間では声を出してもいいというのを聞いてありがたいと思いました。障害の状況で、本人自身の個性として声が出たりします。それを遠慮されて

(事務局)	図書館に来られないというのがあると思います。もし、今までにそういったお子さんが来られて、突然声を出されたりしたときはどういった対応をしていますか。
(事務局)	施設から定期的に本を借りに来た時に、障害者の方も一緒に来たりしますが、施設側から「何日何曜日のいつだったらどうですか」と気を使ってくれまして、お客さんが少ない時に来てくれたりしましたが、最近は「気にしないで来てください」と声をかけています。何時間いるというのではなく、好きな本を選びたいということなので、いつでも受け入れるようにしています。
(委員長)	図書館に障害者支援がなければいけませんからね。
(事務局)	色々な施設の方が図書館にいらっしゃいます。障害を持ったお子さんや成人の方もいらっしゃいますが、図書館は落ち着くそうです。見学の場合は事前にお話がありますが、お客さんの中でも自閉症のお子さんや成人者も来館されます。職員がそのお客さんや他のお客さんに対して配慮を行っています。
(委員長)	みんなが利用できる図書館じゃないと、意味がないですらね。職員の方はそういう理解があると思います。
(事務局)	赤ちゃんがうるさくしたり、障害者の方が声をあげたりしても、それを注意してくれと言われることはほとんどないです。利用者の方も「仕方がない」と思ってくれているのだと感じています。勉強しに来ている中高生がうるさくしているので注意して欲しいというのはしょっちゅうありますが。
(委員)	別の市の公共施設で、知人でどうしても声を出してしまう子が、3回くらい声を出してしまうと他から苦情が出てしまって、辛い思いをしていました。もう何十年も前の話ですが、東部養護学校の先生がどういう指導をされたりしているのか、色々思ったりしましたが、安心しました。
(事務局)	現在の利用者みなさんは、温かい目で見守っていると思います。
(委員)	息子が野球をしています。その関係で訪れた小学校の体育館が、体育館ではなくアリーナという言い方をしていました。「図書館」と言ったら静かにしなければならぬ所というイメージがあるので、名前から変えてみるというのもいいかなと思います。「子どもの森」とか、志度は平賀源内さんの出身地なので「発明館」とか、イメージを変える戦略として面白いのではと思います。
(委員長)	他に意見がないようなので、その他について、説明してください。 (議題(3)その他について説明した。)
(委員長)	他になければ以上で終わります。事務局に進行を返します。
(事務局)	事務局からはお礼とお願いを申し上げます。協議会の委員さんの任期が、本年の5月31日までとなっています。通常ですと、5月までにこの会議の開催の予定はありません。もしかしたら本日の会議が最終となる可能性もあります。ここで改めてお礼を申し上げます。全委員さんへのお知らせになりますが、各組織の代表として就任されている方で、年度が変わることによりまして本協議会の委員さんに変更が生じる場合、決定後速やかに事務局までご一報ください。また、事務局からもそういった問い合わせを4月に入ってから連絡しようと考えています。次に、公募による委員さんにも、組織代表委員さんと同様に、まことにありがとうございます。本年4月に入りましたら、改めてこのさぬき市図書館協議会の公募による委員さんを募集しますので、差支えがなければ是非再度応募の方向でご検討くださいますようお願い申し上げます。

<p>(委員長) (事務局)</p>	<p>ます。以上です。長時間のご審議ありがとうございました。 (委員長挨拶) 以上で、令和元年度第2回さぬき市図書館協議会を終了します。</p>
------------------------	--